

編集後記

本号は「情報化施工・IT技術・ロボット化・自動化・自動制御」ということで、建設工事に関わる様々な先進技術、特に衛星から取得した位置情報を活用した施工法やシステム、機材、そして災害復旧などで活躍するロボットについて幅広く取り上げました。

近年、カーナビに代表されるように、アメリカのGPS衛星などから送られる電波を利用した位置情報システムは、レジャーなど様々な民生分野で活用のエリアが広がっております。卑近な例ですが、筆者が趣味としている自転車（ロードバイク）の世界においても、今では当たり前の技術になっています。自転車をただの移動手段ではなく趣味や体力増進の目的で乗り始めると、その走行を計測、記録したい欲求に駆られます。旧来より、自転車のホイールの回転数を検知して速度と走行距離を計測、記録する装置（サイクルメータ）はありましたが、趣味の探求者はそれでは飽き足らず、心拍数、ペダルの回転数（専門用語でケイデンス）、勾配、軌跡、獲得標高（総上昇量）、出力といった数値の計測を求め始め

ます。その結果、様々なセンサー（心拍計、ペダル検知センサー、ひずみ計など）と衛星からの位置情報が追加装備される高級メータが登場しました。初期の高級メータは非常に大きく（現在のスマホくらい）しかも高価でした。登場から数年を経た現在では、大きさは手にすっぽり収まるくらいに小型軽量化され、価格も手頃になっています。この進化の速度には驚くばかりです。筆者はこのメータを土木工事や鉱山現場の走路計測にも活用しておりますが、精度や結果出力、そして何より計測の簡便性に変化満足しています。

建設分野における衛星位置情報の活用は、民生用と比較して高精度、高品質が求められるため同一に論ずることは出来ませんが、国内でも市場が拡大すれば更なるコストダウンや製品改良が期待できます。そのためには、工事の発注システムの改善に始まり、準天頂衛星の増強などまだまだ課題は多いと思いますが、本号を通して明るい未来が広がっていると感じました。

最後になりますが、お忙しいなか本号に対してご執筆頂きました皆様に、厚く御礼を申し上げます。ありがとうございました。

（山本・藤島）

機関誌編集委員会

編集顧問

浅井新一郎	今岡 亮司
加納研之助	桑垣 悦夫
後藤 勇	佐野 正道
新開 節治	関 克己
高田 邦彦	田中 康之
塚原 重美	寺島 旭
中岡 智信	中島 英輔
橋元 和男	本田 宜史
渡邊 和夫	

編集委員長

田中 康順 鹿島道路(株)

オブザーバ

山下 尚 国土交通省

編集委員

山田 淳	農林水産省
伊藤 健一	(独)鉄道・運輸機構
松本 久	(独)水資源機構
宮崎 康信	鹿島建設(株)
和田 一知	(株)KCM
安川 良博	(株)熊谷組
渥美 豊	コベルコ建機(株)
原 茂宏	コマツ
藤永友三郎	清水建設(株)
赤神 元英	日本国土開発(株)
山本 茂太	キャタピラー・ジャパン(株)
星野 春夫	(株)竹中工務店
齋藤 琢	東亜建設工業(株)
相田 尚	(株)NIPPO
田岡 秀邦	日本道路(株)
堀田 正典	日立建機(株)
岡本 直樹	山崎建設(株)
中村 優一	(株)奥村組
石倉 武久	住友建機(株)
江本 平	範多機械(株)
京免 継彦	佐藤工業(株)
松澤 享	五洋建設(株)
藤島 崇	施工技術総合研究所

11月号「山岳トンネルとシールド・推進工特集」予告

- ・最新の高効率電気集じん器
- ・最新ICTを活用したトンネル工事現場における省エネを一元管理
新東名 鳳来トンネルにおけるスマートサイトシステム
- ・4車線化工事に伴う供用中路線のトンネル坑口改築
- ・FRPセグメントの開発
- ・全断面早期閉合における合理化施工
- ・ドリルジャンボの最新技術 海外編
RCS（リグコントロールシステム）によるコンピュータ制御
- ・ラインセンサカメラを用いたトンネル偏状検査システム
- ・二次覆工一体型シールド切替型推進工法の開発
- ・大口径シールド機による急曲線施工
- ・非円形断面シールドトンネル用セグメント組立装置
ラック&ピニオン駆動モノレール式セグメント組立装置の開発
- ・覆工コンクリート脱型時期判定システムの開発と導入
T-JUDGシステムによる強度推定

No.740「建設の施工企画」 2011年10月号

〔定価〕1部840円（本体800円）
年間購読料9,000円

平成23年10月20日印刷

平成23年10月25日発行（毎月1回25日発行）

編集兼発行人 辻 靖 三

印刷所 日本印刷株式会社

発行所 社団法人日本建設機械化協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話 (03) 3433-1501 ; Fax (03) 3432-0289 ; <http://www.jcmanet.or.jp/>

施工技術総合研究所	〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154	電話 (0545) 35-0212
北海道支	〒060-0003 札幌市中央区北三条西2-8	電話 (011) 231-4428
東北支	〒980-0802 仙台市青葉区二日町16-1	電話 (022) 222-3915
北陸支	〒950-0965 新潟市中央区新光町6-1	電話 (025) 280-0128
中部支	〒460-0008 名古屋市中区栄4-3-26	電話 (052) 241-2394
関西支	〒540-0012 大阪市中央区谷町2-7-4	電話 (06) 6941-8845
中国支	〒730-0013 広島市中区八丁堀12-22	電話 (082) 221-6841
四国支	〒760-0066 高松市福岡町3-11-22	電話 (087) 821-8074
九州支	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-8-26	電話 (092) 436-3322

本誌上への(株)共栄通信社までお問い合わせ下さい。

本社 〒105-0004 東京都港区新橋3-15-8 (精工ビル5F) 電話 03-5472-1801 FAX03-5472-1802 E-MAIL : info@kyoeitushin.co.jp
担当 本社編集部 宗像 敏